

日本フラワー・オブ・ザ・イヤー2024決定。



フラワー・オブ・ザ・イヤー及び 特別賞受賞品種のご紹介 切花部門 / 鉢物部門 / ガーデニング部門

■ 「いい花の新基準」。ジャパンフラワーセレクション

ジャパンフラワーセレクション (JFS)とは、「いい花の新基準。」を合言葉に、業界初の統一的な品種コンテストとして2006年春からスタート。

国内外の新品種の中から、消費者に本当に推奨できる優れた品種を選定しています。

各審査会で受賞品種のなかから、フラワー・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)や、ベスト・フラワー(優秀賞)、各種特別賞を選定しています。

フラワー・オブ・ザ・イヤー <i>Flower of the Year</i>	モーストジョイ 特別賞	ニューバリュー 特別賞	カラークリエイト 特別賞	ニュースタイル 特別賞	ライフデザイン 特別賞	ジャパンデザイン 特別賞	モニター 特別賞
ベスト・フラワー <i>Best Flower</i>	フレグランス 特別賞	フリーディング 特別賞	グッドパフォーマンス 特別賞	フォトジェニック 特別賞	コンテナガーデンパフォーマンス 特別賞	コンテナパフォーマンス 特別賞	ガーデンパフォーマンス 特別賞



いい花の新基準。

<http://www.jf-selections.net/>

ジャパンフラワーセレクション実行協議会
東京都中央区東日本橋3-6-17山一ビル4F
一般財団法人日本花普及センター内

TEL : 03-3664-8739 FAX : 03-3664-8743
メール : jfpc@jfpc.or.jp

ジャパンフラワーセレクション2024-2025 審査会の開催状況

■切花部門

審査会名	審査日	審査対象品種
春審査会	審査日：2024年5月2日（木） 会場：パシフィコ横浜 展示ホールA・B （横浜フラワー&ガーデンフェスティバル2024内）	25品種
秋審査会	審査日：2024年10月14日（月・祝） 会場：大田市場花き部内（株）大田花き	16品種
切花部門 合計		41品種

審査会の様子



切花部門春審査会の様子



鉢物部門春審査会の様子



ガーデニング部門屋根付き施設での審査の様子



ガーデニング部門露地花壇での審査の様子

■鉢物部門

審査会名	審査日	審査対象品種
春審査会	審査日：2024年5月2日（木） 会場：パシフィコ横浜 展示ホールA・B （横浜フラワー&ガーデンフェスティバル2024内）	25品種
秋審査会	審査日：2024年11月19日（火） 会場：大田市場花き部内 （株）フラワーオークションジャパン	9品種
鉢物部門 合計		34品種

■ガーデニング部門

審査会名	審査日	審査対象品種
審査会 第1～4回	審査日：（第1回）2024年 7月 2日（火） （第2回）2024年 8月20日（火） （第3回）2024年 10月 8日（火） （第4回）2023年 11月18日（月） 会場：千葉大学環境健康フィールド科学センター	14品種
ガーデニング部門 合計		14品種

■切花・鉢物の審査会では、人気投票を実施しました。（写真は人気投票第1位（モニター特別賞）受賞花）



春審査会

デルフィニウム
「F1ルチアスカイブルー」
（株）ミヨシ



春審査会

アジサイ
「月影」
（久留米花卉園芸農業協同組合）



秋審査会

ダリア
「ホットピンクオセロ」
（ミヨシ）



秋審査会

マンガベ
「ブレイングハンズ」
（株）ハクサン

御協力いただいた審査員の先生方

部門	審査員名
切花部門	穴戸 純 (株)大田花き 営業本部 開発ユニット 部長〈部門長〉 大根 秀夫 (株)千政 代表取締役 小泉 吉寿 (株)白楽花園 チーフデザイナー 細谷 宗令 元千葉県農林総合研究センター 増田 篤 (株)日比谷花壇 バンケット事業統括部 購買企画推進部 部長 宮本 亮 (株)フラワーオークションジャパン 切花本部 営業部 部長
鉢物部門	平田 隆明 (株)フラワーオークションジャパン 常務取締役 鉢物本部長〈部門長〉 長岡 求 (株)フラワーオークションジャパン 顧問 〈春部門長〉 岡部 幸一 (株)大田花き 営業本部 第二グループ グループリーダー 尾崎 明弘 (株)オザキフラワーパーク 代表取締役 香取 邦枝 第一園芸(株) 緑化事業本部 緑化事業部 担当部長 小池 安比古 東京農業大学 農学部 農学科 教授 向原 潤 (株)ディノス・セシールフラワーネット本部 フラワーネット事業部 EC/事業推進ユニット チーフ
ガーデニング 部門	山本 岳史 豊明花き(株) 企画本部外商部 部長〈部門長〉 尾崎 明弘 (株)オザキフラワーパーク 代表取締役 杉井 志織 はなぐみ 代表 村上 智弘 (株)フラワーオークションジャパン 鉢物部 部長 山口 まり 日本ハンギングバスケット協会 理事 渡辺 均 千葉大学環境健康フィールド科学センター 教授
中央審査委員会	中央審査委員長 安藤 敏夫 切花部門長 穴戸 純 鉢物部門長 平田 隆明 ガーデニング部門長 山本 岳史

第73回 関東東海花の展覧会でのPR展示の出品を募集しています

2025年1月31日(金)～2月2日(日)開催の「第73回 関東東海花の展覧会」で、ジャパンフラワーセレクションの受賞品種の特別展示を行います(JFS受賞品種展示は、1月31日・2月1日の2日間)。

2024年の受賞品種だけでなく、過去の受賞品種、またその関連品種、シリーズ品種など、消費者のみなさまが興味を持ってご覧になれるような場としたいと思います。詳しいことは、巻末のご案内をご覧ください。

*出品申請書は、ジャパンフラワーセレクションのホームページ上「WHAT'S NEW」からダウンロードできます。



ジャパンフラワーセレクション切花・鉢物「春審査会」は、新しいイベントの中で開催。

特別企画「アジサイ特別展」もあわせて、

多くの来場者のみなさんに新たな品種を楽しんでいただきました。

パシフィコ横浜を会場にした園芸イベント「横浜フラワー＆ガーデンフェスティバル2024」内での切花・鉢物部門「春審査会」と同時開催で、「世界に誇るあじさいたち2024」を展示。ジャパンフラワーセレクションのご出品者のみなさまのご協力を得て、見ごたえある展示となりました。

母の日前のお忙しい中、ご協力くださったご出品者の皆様に厚く御礼申し上げます。



日程:2024年5月3日(金)~6日(月) 会場:パシフィコ横浜 展示ホールA・B(横浜市) イベント名:横浜フラワー＆ガーデンフェスティバル2024
来場者数(4日間):35,094人 *ジャパンフラワーセレクションは、(公社)日本家庭園芸普及協会主催の「ジャパンセレクション」との共同で開催させていただきました。

ジャパンフラワーセレクションの賞体系について



1. フLOWER・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)

各部門の中で最も優れた1品種に授与します。
各審査会での「ベスト・フラワー(優秀賞)」(10点満点の8.0点以上)から、得点、授賞に対する評価、ガーデニング部門は栽培状況データなども踏まえて、11月下旬の中央審査委員会で決定します。

2. ベスト・フラワー(優秀賞)

各部門で、姿、形、デザインに加えて栽培のしやすさなど全体的にバランスのよい優れた品種に授与されます。
各審査会でのジャパンフラワーセレクション入賞品種の中から10点満点の8.0点以上と採点された品種です。

3. ジャパンフラワーセレクション特別賞

各審査会での受賞品種(10点満点の7.0点以上)の中から、花の業界にとって意義があり、新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを与えた品種に授与されます。
なお、以下の賞が設定されていますが、該当する品種がない年は、授与されません。

「モーストジョイ特別賞」

気分をデザインする品種。それがあただけで、喜びに満ち、楽しい気分などをもたしてくれる品種に授与されます。

「ニューバリュー特別賞」

花の新たな価値観をデザインする品種。今までにない新しい価値観を感じさせ、フラワーデザイン、ガーデンデザインの多様性や可能性を広げて花文化の未来に貢献する品種に授与されます。

「ニュースタイル特別賞」

斬新で優れた形状をもつ品種です。これまでになかった新たな花型、葉型、草姿等を持ち、業界にインパクトを与えた品種に授与されます。

「フレグランス特別賞」

芳香がうるわしく、香りのデザインが優れた品種に授与されます。

「ブリーディング特別賞」

育種技術により花の芸術性・商品性を高めた品種です。これまでになかった価値観や形質を生み出し、育種の開発コンセプト、育種技術力が優秀で、デザイン・芸術性、商品性の高い品種に授与されます。

「カラークリエイティブ特別賞」

花の色の流行を先取りした品種です。人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種に授与されます。

「グッドパフォーマンス特別賞」

(切花部門・鉢物部門)
これまで比べて、生産者にとっても消費者にとっても扱い易く、育てやすい品種に授与されます。

「ジャパニデザイン特別賞」

日本らしさを持ち、日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種に授与されます。

「ライフデザイン特別賞」

高いデザイン性と、消費者にとって扱いやすい特性を持ち、それがあただけで日々の生活を楽しませ、また、生活空間を豊かにしてくれる品種に授与されます。

「コンテナパフォーマンス特別賞」

「ガーデンパフォーマンス特別賞」

(ガーデニング部門)
コンテナとガーデンの両方のパフォーマンスに優れている場合は、「コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞」と表記します。

「モニター特別賞」

春・秋審査会での一般消費者や買参人等のモニター調査の結果、JFS受賞品種のうち各部門でトップとなった品種に授与されます。(切花部門・鉢物部門のみ)

「フォトジェニック特別賞」

写真を活用した情報発信やコミュニケーションをしたくなるような写真映えの良さを持つ品種に授与されます。

4. ジャパンフラワーセレクション入賞

各審査会で、5名以上の審査員で構成する審査団が採点した結果、10点満点の平均点が7.0以上の品種に授与されます。入賞品種は、上記の1~3の候補となります。

ジャパンフラワーセレクションに入賞した品種は、認定登録を行うことで専用ロゴマークを利用した販売活動等が可能になります。(マークの使用期限はありません)
ロゴマークを使用することで「花業界が推奨する品種」として他との差別化を図ることができます。
JFS認定ロゴマークを利用し、入賞品種のPRIにご活用ください。



切花部門

フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）2024 カネコ種苗(株) カーネーション「テルミ」

受賞者：カネコ種苗(株)（群馬県）
 育成者：金丸 直明
 育成者権者：カネコ種苗(株)
 ホームページ：<http://www.kanekoseeds.jp>
 審査講評： 極薄いクリーム地にライラックがかったピンク色の覆輪のスプレーカーネーション。丸い花弁のふんわりとした雰囲気と、優しいグラデーションの花色がマッチしている。万人に好まれるタイプのスプレーカーネーション。

アレンジメントの中に添える花としてのスプレーカーネーションとしてだけでなく、カーネーションの魅力を改めて感じさせてくれる逸品。



■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】

丸弁でかわいい雰囲気の花形と優しい花色を追求して開発しました。特に花形については、丸弁で全く乱れない整った形を突き詰めて選抜しました。花屋さんで販売されていて、「思わず足を止めて見てしまうような花」を目指して開発しています。

【開発の面白さ・今後の展開など】

私自身物心ついた時からの花好きで、常に一消費者の目線で、自分自身がきれいだな、かわいいなと感動するような花を選抜するよう心掛けています。今後も色々な花色で、見て感動してもらえるような花をお届けしていきたいと考えています。

ベスト・フラワー（優秀賞） [ジャパndeザイン特別賞 同時受賞]

キク「クチュールブラッシュ」

(株)デリフロールジャパン



受賞者 : (株)デリフロールジャパン (静岡県)

育成者権者 : Deliflor Royalties B. V.

ホームページ : <http://www.deliflor.co.jp>

審査講評 : 見る角度によってブラウンにもダークピンクのようにも見えるような大輪のデコラマム。シックな印象の花弁は、表裏の色が異なり、花型をより立体的に見せている。

流行のくすみカラーにマットな質感で、エレガントな雰囲気醸しており、様々なシーンでの活躍が期待できる。キクの魅力を再認識させてくれるような、印象的な品種。

ベスト・フラワー（優秀賞）とジャパndeザイン特別賞を同時受賞。

ベスト・フラワー（優秀賞） [ブリーディング特別賞 同時受賞]

トルコギキョウ「カフェドレーブ」

カネコ種苗(株)



受賞者 : カネコ種苗(株) (群馬県)

育成者 : 北爪 伸英

育成者権者 : カネコ種苗(株)

ホームページ : <http://www.kanekoseeds.jp>

審査講評 : ライトブラウン系の中大輪フリンジ咲きのトルコギキョウ。人気のアンティーク調の色だが、昨年フラワー・オブ・ザ・イヤーを受賞したエグゼアンティークピンクより、やや赤みが弱く、茶色味が強い印象。ピンク系とも茶系とも、どちらとも相性が良く、使い勝手の良い色という評価があった。

「優美にまとう」という意味合いのドレーブというネーミングの通り、シックだが地味ではなく、豪華な雰囲気たっぷりの品種。

ベスト・フラワー（優秀賞）とブリーディング特別賞を同時受賞。同時開催の人気投票では、切花部門第3位入賞。

ベスト・フラワー（優秀賞）[カラークリエイティブ/ニュースタイル特別賞 同時受賞]

バラ「ひまり」

やぎバラ育種農園



受賞者 : やぎバラ育種農園（静岡県）
 育成者 : やぎバラ育種農園
 ホームページ : <https://yagirosebreedingfarm.com/>
 審査講評 :

淡い黄色の波状弁、スプレータイプのバラ。やぎバラ育種農園オリジナルの「ももな」の枝替わり品種。うっすら赤みがかかった少しくすんだ黄色は、バラとしては珍しい。秋冬にも使いやすい色み。また、蕾のライトグリーンとのコントラストもフレッシュな印象がある。

開花するにつれ、波打つ花弁がふんわりとして、花の表情がどんどん見えてくる。しべが見えるほど開いてもパラパラと散り落ちることがなかった。ベスト・フラワー（優秀賞）とカラークリエイティブ特別賞、ニュースタイル特別賞も同時受賞。



ベスト・フラワー（優秀賞） [ライフデザイン特別賞 同時受賞]

バラ「ホーリー」

やぎバラ育種農園



受賞者 : やぎバラ育種農園（静岡県）
 育成者 : やぎバラ育種農園
 ホームページ : <https://yagirosebreedingfarm.com/>
 審査講評 :

くすんだパープル、グリーンアイとやぎバラ育種農園の得意とするカラーリング・花型の魅力が詰まったタイプのスプレータイプバージョン。花弁がしっかりと開き、花もちもとても良い上に、トゲがほとんど無く、使い勝手も良い。

パープル、シルバー、茶色系と、いろいろな色のニュアンスを感じるため、いろいろな花との組み合わせが楽しめそう。

ベスト・フラワー（優秀賞）とライフデザイン特別賞同時受賞。



ベスト・フラワー（優秀賞） [ライフデザイン特別賞 同時受賞]

バラ「リージェントパーク！」

イノチオ精興園（株）



受賞者：イノチオ精興園（株）（広島県）
育成者：Petrus Schreurs
育成者権者：イノチオ精興園（株）
ホームページ：<https://www.seikoen-kiku.co.jp/>
審査講評： ロマンチックなピンクの大輪となるロゼット咲きの花型やフリル感がマッチしている。今回の出品はやや小さめであったが、本来は開花した直径が10センチほどにもなる豪華な品種。
濃いピンクでありながら、ホットピンク系ではなく、エレガントさがあり、用途を選ばない。咲き進むごとに変わる表情にも楽しみがある。
ベスト・フラワー（優秀賞）、ライフデザイン特別賞も同時受賞。

ベスト・フラワー（優秀賞） [モーストジョイ特別賞 同時受賞]

バラ「レッドモヒート」

（有）たなまち園芸場



受賞者：（有）たなまち園芸場（福岡県）
育成者：棚町 満
育成者権者：棚町 満
審査講評： やや朱赤に寄った、暗さを感じない赤色は、目に焼き付く印象的な色。人気のクラシカルなカップ咲きの中輪スプレータイプだが、非常にボリュームがある。スプレーの側枝が長く、使いやすいもある。たなまち園芸場のバラの特徴である花卉の強さ、散りにくさも備え、大きく開花してからの扱いやすさも秀逸。
ベスト・フラワー（優秀賞）、モーストジョイ特別賞受賞。

ベスト・フラワー（優秀賞）

[ニューバリュー特別賞 同時受賞]

アスター「ボブサーモンオレンジ」

(株)ミヨシ



受賞者 : (株)ミヨシ (山梨県)
育成者 : satimex Quedlinburg GmbH
育成者権者 : (株)ミヨシ
ホームページ : <https://www.miyosi.co.jp/>
審査講評 :

ボリュームあるフルダブルの花弁が特徴のアスター、ボブシリーズの新品種。花の直径は7~9cm程あり、アスターとして非常に大きいですが、茎がしっかりとしているのでアレンジメントでも花束にも使いやすい。

ぎっしりと詰まった花弁とその陰影が模様のように見え、絵画のように美しい。ゴージャス感があるが、サーモンオレンジのかわいらしい色は、様々な用途に活用しやすいだろう。

ベスト・フラワー（優秀賞）とニューバリュー特別賞を受賞。



ベスト・フラワー（優秀賞）

[カラークリエイティブ特別賞 同時受賞]

アスター「ボブパープルアッシュ」

(株)ミヨシ



受賞者 : (株)ミヨシ (山梨県)
育成者 : satimex Quedlinburg GmbH
育成者権者 : (株)ミヨシ
ホームページ : <https://www.miyosi.co.jp/>
審査講評 :

ボリュームあるフルダブルの花弁が特徴のアスター、ボブシリーズの新品種。ラベンダーカラーで、見る角度によってはメタリックな光沢が特徴的。花が非常に大きいですが、茎がしっかりとしている点は、ボブサーモンオレンジに同様で、また、パープル・ブルー系の需要は高まっているので、用途が多い。

シルバーアッシュの色あいですが、花弁の重ねの多さ、ふんわり感を強調し、主役となれるアスターとして注目したい。

ベスト・フラワー（優秀賞）とカラークリエイティブ特別賞を受賞。



ベスト・フラワー（優秀賞）[グッドパフォーマンス/ブリーディング/
モニター特別賞「秋」（人気投票第1位）同時受賞]

ダリア「ホットピンクオセロ」

(株)ミヨシ



受賞者：(株)ミヨシ (山梨県)
育成者：秋元 徹
育成者権者：(株)ミヨシ
ホームページ：https://www.miyosi.co.jp/
審査講評：小売り・サブスク用に開発された使いやすく飾りやすい小輪ダリア。透明感のあるピンク色だが、花弁はしっかりとした厚みがある。豊産品であることが価格に反映されれば、従来品にない魅力となる。気軽にダリアを手にとれるようになることが期待される。



審査後に買参人・市場関係者に向けて行った人気投票では、得票数ダントツの1位であり、注目度がうかがえた。

ベスト・フラワー（優秀賞）、グッドパフォーマンス特別賞、ブリーディング特別賞、モニター特別賞 秋（人気投票第1位）という、多くの賞を同時受賞した。

ベスト・フラワー（優秀賞）、グッドパフォーマンス特別賞、ブリーディング特別賞、モニター特別賞 秋（人気投票第1位）という、多くの賞を同時受賞した。

ジャパンデザイン特別賞

キク「シャボンレッド」

(株)デリフロールジャパン



受賞者：(株)デリフロールジャパン (静岡県)
育成者権者：Deliflor Royalties B.V.
ホームページ：http://www.deliflor.co.jp
審査講評：独特な深いワインレッドのポンポンギク。ごく暗い紫味の赤色は、丸いシルエットを生かしたモダンな使い方や、シックな雰囲気用途のどちらにも使いやすく、アレンジメントを引き締めるような、主役にも名わき役にもなる品種。

審査講評：独特な深いワインレッドのポンポンギク。ごく暗い紫味の赤色は、丸いシルエットを生かしたモダンな使い方や、シックな雰囲気用途のどちらにも使いやすく、アレンジメントを引き締めるような、主役にも名わき役にもなる品種。

ジャパンデザイン特別賞受賞。



ジャパndeザイン特別賞

キク「セイモラレス」



イノチオ精興園(株)

受賞者 : イノチオ精興園(株) (広島県)
育成者 : イノチオ精興園(株)
育成者権者 : イノチオ精興園(株)
ホームページ : <https://www.seikoen-kiku.co.jp/>
審査講評 : 先端に切れ目が入る特徴的な花弁を持った個性的なキク。極淡いピンクでこんもりとした花型で、かわいらしさを生かしたフラワーデザインにも使いやすい。繊細に見える花だが、茎はしっかりと固く、ブーケでもアレンジメントでも扱いはよい。この花型のスプレー仕立てを見てみたいという意見もあった。
ジャパndeザイン特別賞受賞。



フォトジェニック特別賞、モニター特別賞「春」(人気投票第1位)

ダリア「ピコリータ」

(株)ミヨシ



受賞者 : (株)ミヨシ (山梨県)
育成者 : 秋元 徹
育成者権者 : (株)ミヨシ
ホームページ : <https://www.miyosi.co.jp/>
審査講評 :

ダークな赤色から弁先の白までの吸い込まれるような花弁のグラデーションが素晴らしい。造形的で、一輪でもアートのような。

中小輪のフォーマルデコラ咲きのダリアは、用途が広いが、かわいらしくもクールにもどちらにも利用できるタイプ。横向きに咲くところが良いという意見と、やや上向きに咲くとより使いやすいという両方の意見があった。

フォトジェニック特別賞受賞。来場者にも人気があり、モニター特別賞「春」(人気投票第1位)受賞。



グッドパフォーマンス特別賞

トルコギキョウ「ノアシルキーピンク」

(株)ミヨシ



受賞者 : (株)ミヨシ (山梨県)
 育成者 : (株)ミヨシ
 育成者権者 : (株)ミヨシ
 ホームページ : <https://www.miyosi.co.jp/>
 審査講評 : 大きすぎない花径と透明感のあるライトピンクがマッチしたトルコギキョウ。桜貝のような優しいピンク色は、どんな用途でもほしい色。フリンジも強すぎず、軽やかで、アレンジメントでもブーケでも、ブライダルにもフューネラルにも、ホームユースでもすべてにおいての「ちょうどよさ」をうまく兼ね備えている感がある。
 グッドパフォーマンス特別賞受賞。来場者人気投票は10位に入賞。

カラークリエイト特別賞

バラ「エマーブルホワイト」

(株) ROSETIQUE JAPAN



受賞者 : (株) ROSETIQUE JAPAN (東京都)
 育成者 : (株) ROSETIQUE JAPAN
 ホームページ : <https://rosetique.tokyo/>
 審査講評 : 単なる白いバラではない、トレンドの「くすみ白」をうまく表現している。写真ではわかりにくいですが、透明感の無いマットな白で、ややグレー、極薄いパープルのようなニュアンスもある。ブライダルでもフューネラルでも使ってみたい。
 花が全開となっても散ることなく、花弁が美しく重なった様子を見せてくれた。品種名のエマーブル (AIMABLE) はフランス語で優しさ、心地よさを意味すること。
 カラークリエイト特別賞受賞。

フレグランス特別賞

バラ「マダムカヨコ」

(有)アミノ



受賞者 : (有)アミノ (神奈川県)
 育成者 : 今井清
 育成者権者 : (有)アミノ
 ホームページ : <http://www.mafdamino.com>
 審査講評 : 素晴らしいブルーの芳香のあるロゼット咲きのバラ。ダマスクモダンとティーの混在したような爽やかな香りは、展示会場で大変に人気があった。やや茶色味も感じるニュアンスのあるパープル。出品花はステムが細く、花卉の傷がやや見られた。
 フレグランス特別賞受賞。

グッドパフォーマンス特別賞

キク「ドロップショット」

(株)デリフロールジャパン



受賞者 : (株)デリフロールジャパン (静岡県)
 育成者権者 : Deliflor Royalties B. V.
 ホームページ : <http://www.deliflor.co.jp>
 審査講評 : シックな色あいにもコロコロとしたポンポン咲き、使いやすい花サイズ感と草姿といったトータルバランスに優れたキク。暖かみのあるグラデーションカラーはおしゃれ感たっぷり、様々な用途に対応できる。大型の活けこみにはマス状に使っても、小型のアレンジメントではスプレーを切り分けて自在に使える。
 生産者にとっても消費者にとっても扱い易く、育てやすい品種に授与されるグッドパフォーマンス特別賞を受賞。

フォトジェニック特別賞

キク「ブラーノオレンジ」



(株) デリフロールジャパン

受賞者 : (株) デリフロールジャパン (静岡県)

育成者権者 : Deliflor Royalties B. V.

ホームページ : <http://www.deliflor.co.jp>

審査講評 : 秋～冬向きのデザインにピッタリの落ち着いたトーンのオレンジ色のポンポンマム。ややブラウン寄りのオレンジ色は、花のセンター部分から弁先に向けてグラデーションとなり、一つ一つの花に立体感を与えている。

写真映えの良さを持つ品種に授与されるフォトジェニック特別賞を受賞。

ライフデザイン特別賞

バラ「ルナベル（美月）」 *出品時の名称 OKMT No.13



受賞者 : (株) ROSETIQUE JAPAN (東京都)

育成者 : 岡松 計仁

育成者権者 : (株) ROSETIQUE JAPAN

ホームページ : <https://rosetique.tokyo/>

審査講評 : 澄んだ純白のバラ、咲き進むに連れて大きくロゼット咲きとなる。

ウェディングブーケだけでなく、店舗やオフィスなどのビジネス上のギフトシーンや、日常使いにも「定番」と言える安心感のある白バラは欲しいところ。純白のバラで形の良い品種が欲しいという声もあり、今後に期待が高まる。

ライフデザイン特別賞受賞。

モーストジョイ特別賞

バラ「セントジェームスパーク！」

イノチオ精興園(株)



受賞者 : イノチオ精興園(株) (広島県)
育成者 : Petrus Schreurs
育成者権者 : イノチオ精興園(株)
ホームページ : <https://www.seikoen-kiku.co.jp/>
審査講評 :

グラマラスな花の雰囲気のロゼット咲きのバラ。一見赤いバラのように見えるが、パープルがかったかなり濃く美しいピンク色。少し波打つ花びらが開花の過程で豊かな印象を強くするだけでなく、ほのかに甘い香りも放つ。

出品されたサンプルはやや小さな花であったが、本来は直径10センチほどになる。楽しい気分などをもたらしてくれる品種に授与されるモーストジョイ特別賞を受賞。

フレグランス特別賞

バラ「ノア」

(有)アミノ



受賞者 : (有)アミノ (神奈川県)
育成者 : 今井 清
育成者権者 : (有)アミノ
ホームページ : <http://www.mafdamino.com>
審査講評 :

やや浅めのカップ咲きのスプレータイプのバラ。スプレーバラとしてのボリュームはたっぷり。

側枝が長く、切り分けて使う際の使い勝手は良さそうだが、1輪のサイズが充実している分、もう少し茎の硬さが欲しいという意見もあった。

フルーティのさわやかな強香があり、このバラのやわらかい雰囲気にもなる魅力を添えている。フレグランス特別賞受賞。

受賞者：（株）エム・アンド・ビー・フローラ（山梨県）

育成者：Star Roses and Plants

育成者権者：（株）エム・アンド・ビー・フローラ

ホームページ：<https://www.mbflora.co.jp/companyprofile/>

審査講評：ブルーベリーの従来品種の樹高は1～3mであるのに対し、樹高30～90cmほどの矮性シリーズのなかのひとつ。

樹高50cm程度とコンパクトながら、分枝性にすぐれ、1株でも結実し、たくさんの果実を

つけるので、見て食べて楽しめる鉢物として注目されるだろう。また、枝垂れる樹形を生かしてハンギングバスケットでも育てられるなど、ブルーベリーの新しい楽しみ方が期待できる。



■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】

樹高は50cm程度のコンパクトな草姿で鉢で育てられることから、玄関やベランダなど場所を選ばずに楽しむことができます。一般的なブルーベリーは結実するのに2品種以上が必要ですが、1本でたくさんの実を付けてくれることから、従来にはない性質を兼ね備えている品種と言えます。

【開発の面白さ・今後の展開など】

同品種は這い性でハンギングバスケットでも育てられますが、他にも果実の味や、葉色、樹形など個性あふれる品種がシリーズ内にはありますので、今後の展開にもご期待ください。



鉢物部門

フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）2024

須藤園芸 エラチオールベゴニア「ブランレーヌ」

受賞者：須藤園芸（群馬県）

育成者：須藤 裕政

育成者権者：須藤 裕政

ホームページ：<http://www.sutoengei.com>

審査講評：深みのあるアイボリー色、中心部がグリーンがかり、優しい印象のグラデーションが美しいエラチオールベゴニア。八重咲きの上、花が大きく豪華で気品がある。

ギフトにはもちろん、室内で楽しむ植物としてホームユースにしてもインテリアになじみやすい色でおすすぬ。



■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】

従来品種クララのなかに色の違う変異株を発見、シックなアイボリー調の花色とエレガントな八重咲きの花に心が奪われました。今までにない上品な色合いは、どんなシーンにも似合い素敵な空間を演出してくれるエラチオールベゴニアです。気品のある姿からフランス語で白き女王という名のブランレーヌと命名しました。

【開発の面白さ、今後の展開など】

交配が出来ないエラチオールベゴニアから変異株として誕生した観る人を魅了する奇跡の新品種です。大切に販売していきたいです。

一年を通して生産できるので季節を問わずご活用いただけます。

豊富なサイズで提供できるので用途の幅も広がり、ギフト、装飾、ホームユースなど様々な需要に対応できます。

ベスト・フラワー（優秀賞） [ジャパンデザイン特別賞 同時受賞]

アジサイ「星のかけら」

(有)さかもと園芸



受賞者 : (有)さかもと園芸 (群馬県)
 育成者 : ピムマ ティアムチャイ
 育成者権者 : ピムマ ティアムチャイ
 ホームページ : sakamotoengei.com
 審査講評 : 弁先がとがっていて、一つ一つが星のように見えるアジサイ。ウェーブの入った花弁がエレガントで、くっきりとした縁取りが印象をさらに強くしている。ピンクは鮮やか、ブルーはグラデーションが美しく、特に個性的。いずれも面白みがある素敵な品種。矮化剤未使用でもコンパクトにまとまりながら、花房は大きくサイズ感、バランスともによい。早咲きで揃いもよく、強健で育てやすい。
 ベスト・フラワー（優秀賞）とジャパンデザイン特別賞を同時受賞。来場者の人気投票では第5位に入賞。

ベスト・フラワー（優秀賞） [フォトジェニック特別賞 同時受賞]

ニューギニアインパチェンス「サンパチェンス レッドキャンディー」

(株)サカタのタネ



受賞者 : (株)サカタのタネ (神奈川県)
 育成者権者 : (株)サカタのタネ
 ホームページ : <https://www.sakataseed.co.jp/>
 審査講評 : ピンク地の中央に鮮やかなレッドのコントラストの強いユニークなバイカラーのサンパチェンス。赤みがかったダークカラーの葉色とこの花色のコントラストはよく映え、夏を彩るひと鉢にふさわしい。
 性質は従来品種と変わらず、生育が旺盛で、風などで傷んだ際の回復も早いとのこと。整った美しい株姿、こんもりと育つ姿は大きめのコンテナで楽しみたい。魅力のたくさん詰まった品種。
 ベスト・フラワー（優秀賞）とフォトジェニック特別賞を同時受賞。来場者の人気投票では第6位入賞。

ベスト・フラワー（優秀賞） [グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞]

バラ「ストロベリーカメレオン」

(株) ROSETIQUE JAPAN



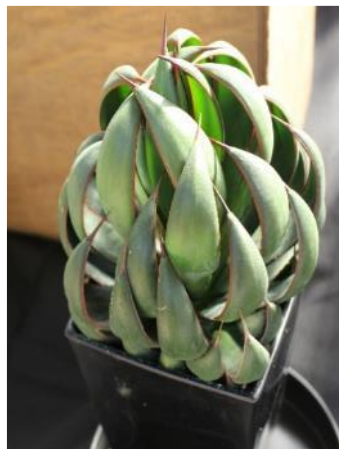
受賞者 : (株) ROSETIQUE JAPAN (東京都)
 育成者権者 : (株) ROSETIQUE JAPAN
 ホームページ : <https://rosetique.tokyo/>
 審査講評 : 岐阜大学と連携開発研究中の屋内外で楽しめる次世代のバラ、カメレオンシリーズのひとつ。花色は濃ピンク→淡ピンク→ベージュ→ホワイトと変化し、1~2か月間咲き続ける。芳香はティー系。中輪系房咲きの花は大きめで、花つきがよく存在感がある。白抜けしているような花色が気になるという意見もあったが、花色の変化やインドア栽培という新たな楽しみ方の提案は高評価。今後の展開にも期待できる。
 ベスト・フラワー（優秀賞）、グッドパフォーマンス特別賞を同時受賞。

鉢物部門 秋 審査会

ベスト・フラワー（優秀賞） [ニュースタイル/モニター特別賞 秋（人気投票第1位）同時受賞]

マンガベ「プレイングハンズ」

(株) ハクサン



受賞者 : (株) ハクサン (愛知県)
 育成者 : Walters Gardens
 育成者権者 : (株) ハクサン
 ホームページ : <https://hakusan1.co.jp/>
 審査講評 : マンフレダとアガベの交雑によって新しく生まれた多肉植物。マンフレダの生育力とアガベの美しい造形や長い観賞期間を併せもつ。独創的な造形で個性的なインテリアグリーン、アート作品のように飾ることができる植物として面白い。
 多肉植物や塊茎植物のブームがより深いところへ行く中で、育てやすさは初心者にもうれしいポイント。雨にも強く、ガーデンでも楽しめる。品種名は、先端のツメが中央に集まる「祈りの手」のような姿から。ベスト・フラワー（優秀賞）とニュースタイル特別賞を受賞。

ベスト・フラワー（優秀賞）

【グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞】

（有）椎名洋ラン園

ファレノプシス「コユキ」



受賞者：（有）椎名洋ラン園（千葉県）
育成者：椎名正剛
育成者権者：（有）椎名洋ラン園
ホームページ：https://sheena.ranran.co.jp/
審査講評：

花が集まり、まるで雲のように浮かんで見える、輪数が多くボリュームのある小輪系品種。リップに淡いピンクとイエローがほんのり入ることで、白色品種のフォーマル感にカジュアルな雰囲気も加わり、ギフトにとどまらず、ホームユースにもおすすりできる。

葉が明るいグリーンであることで、より明るく見え、置いた場所を明るくする。花卉が厚く、長期間観賞できるという。

ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞を受賞。

カラークリエイト特別賞

カリブラコア「ティックトック ブルー」

デュメンオレンジジャパン（株）



受賞者：デュメンオレンジジャパン（株）（静岡県）

育成者：Dümmen Orange

育成者権者：Dümmen Orange

ホームページ：Dummenorange.com

審査講評：くっきりと入る黄色のラインが「時計」のように見えることが由来の品種名。星のようにも見え、個性的でインパクトがある。

紫色の花にしては明るい印象を受けた。開花や生育に特定の日長条件を必要とせず、さまざまな日長に適應できるので、季節を選ばずに次々と咲く。分枝性にすぐれる多花性で、草姿を整えればさらに見栄えするだろう。カラークリエイト特別賞受賞。

フレグランス特別賞

カーネーション「ひなあられ」



JAPAN FLOWER SELECTION

カーネーション

P 7

ひなあられ

学名: *Dianthus caryophyllus*

商品名: 雪印種苗 (株)

育成者: 雪印種苗 (株)

王道のピンク色品種に、あまい香りが漂う魅惑の品種。開花直後の桃色ピンクからだんだんと淡い桜色へと移り変わることで、時間の流れとグラデーションを楽しむことができる本品種は、長く楽しむことができます。

雪印種苗 (株)

受賞者 : 雪印種苗 (株) (千葉県)
 育成者 : 雪印種苗株式会社/国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
 育成者権者 : 雪印種苗株式会社/国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
 ホームページ : <https://www.snowseed.co.jp/>
 審査講評 : 遠目に見ても鮮やかな王道の桃色からやさしい桜ピンクへと咲き進み、ひと株でグラデーションを楽しめるカーネーション。花卉に厚みがあり、立体的で丸みを帯びた花形もよい。株にボリュームがあるが広がりにくく、コンパクト



まとまるのもよい。甘い芳香があり、もう一つの魅力となっている。「フレグランスカーネーション」としてアピールしてもよいのではないだろうか。フレグランス特別賞を受賞。

ブリーディング特別賞

カーネーション「ピンクアンドクラウド」 デュメンオレンジジャパン (株)



受賞者 : デュメンオレンジジャパン (株) (静岡県)

育成者 : Dümmen Orange

育成者権者 : Dümmen Orange

ホームページ : Dummenorange.com

審査講評 : それぞれのひと花のなかにピンク色の濃淡でキメラ模様ははっきりと現れ、立体的な印象になる。異なるピンクの2色咲きのコンビネーションもおしゃれ。ランダムに現れる濃淡ピンクに面白みがあり、非常に人目につく。

また、早咲きのため、春のガーデニング先取りが期待できる。太く短い花茎もユニーク。ブリーディング特別賞受賞。



モニター特別賞「春」（人気投票第1位）

アジサイ「月影」



久留米花卉園芸農業協同組合

受賞者 : 久留米花卉園芸農業協同組合
 育成者 : 坂本和盛
 育成者権者 : 久留米花卉園芸農業協同組合
 ホームページ : <http://www.kurume-kaki.or.jp>
 審査講評 : 花房は小ぶりだががく片は大きく、アンティークカラーへの変化も楽しめる。ピンクとブルーでは大きく印象が違い、ブルーのほうが発色がよく和の雰囲気もあり、咲き進むとより印象的になる。ピンクは覆輪がもう少しはっきりするとよいだろう。

分枝性にすぐれ、側枝は太くしっかりしている。コンパクトな株姿で完成度が高いが、ピンクは矮化剤のやや多いか？という意見があった。

来場者の人気投票では鉢物部門で第1位。

グッドパフォーマンス特別賞

ニューギニアインパチェンス「サンパティオ ブラッシュピンク」(株)サカタのタネ



受賞者 : (株)サカタのタネ (神奈川県)
 育成者権者 : (株)サカタのタネ
 ホームページ : <https://www.sakataseed.co.jp/>
 審査講評 : やさしいピンク色にうっすらと入るブラッシュ、花の中心に入る小さな赤いスポットがかわいらしい。近づいて見ると、花色の良さが印象に残る。

花は大きい、「サンパティオ」シリーズは、同社の「サンパチェンス」よりコンパクトな草姿。伸びすぎることなくきれいにこんもりと育つ。置き場所によって、シリーズを選べる。

育てやすさは同シリーズを継承しつつ、最も花つきがよい点を評価したい。

グッドパフォーマンス特別賞を受賞。

ブリーディング特別賞

サルビア「パープルリッチ（仮）」

横浜植木（株）



受賞者：横浜植木（株）（神奈川県）
 育成者：山口 絵梨香
 育成者権者：横浜植木（株）
 ホームページ：<https://www.yokohamaueki.co.jp/>
 審査講評：

キリッと引き締まった印象の濃パープル色の花に、紫がかった黄緑色の萼が個性的なこれまでにない種間雑種のサルビア。

葉が株の下側に密集し、上部に花穂が立ち上がる草姿は、花がまとまって見えて人目を惹く。

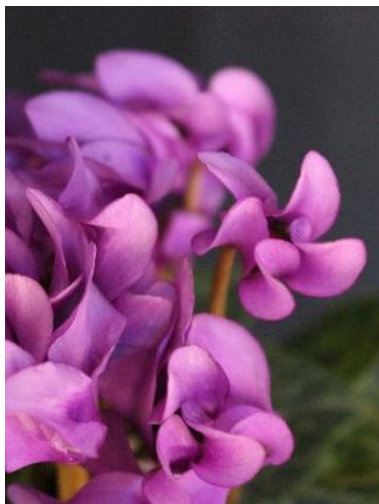
生育旺盛だが従来品種に比べてコンパクトで、鉢植えでも育てやすい。シックな雰囲気、寄せ植えでも単品でも楽しめる。

ブリーディング特別賞受賞。

ライフデザイン特別賞

シクラメン「ドラゴン ディープブルー」

（株）ハクサン



受賞者：（株）ハクサン（愛知県）
 育成者：Schoneveld Breeding
 育成者権者：（株）ハクサン
 ホームページ：<https://hakusan1.co.jp/>
 審査講評：

種子系のブルーシクラメン「ドラゴン」シリーズのディープブルー品種、深みのある色は気品高く、ウインターシーズンのギフトにマッチする。

5号鉢と3号鉢での出品のうち、とりわけ小鉢づくりの評価が高かった。キッチンや玄関、デスクなどプライベートな場所に置いても、また、寄せ植えにブルーシクラメンを入れてワンランクアップすることもできるという扱いやすさで、ライフデザイン特別賞を受賞。

種子系ということで、ブルー、パープル系のシクラメンを手に取りやすく、楽しみやすくさせてくれることに期待。

ライフデザイン特別賞

シクラメン「ドラゴン ライトブルー」

(株)ハクサン

受賞者 : (株)ハクサン (愛知県)
育成者 : Schoneveld Breeding
育成者権者 : (株)ハクサン
ホームページ : <https://hakusan1.co.jp/>
審査講評 : 種子系のブルーシクラメン

「ドラゴン」シリーズのライトブルー品種、透明感あるすみれ色は、小さい鉢の仕立てほど宝石のような希少さや存在感を感じさせる。

5号鉢と3号鉢での出品のうち、とりわけ小鉢づくりの評価が高かった。キッチンや玄関、デスクなどプライベートな場所に置いても、また、寄せ植えにブルーシクラメンを入れてワンランクアップすることもできるといふ扱いやすさで、ライフデザイン特別賞を受賞。

種子系ということで、ブルー、パープル系のシクラメンを手に取りやすく、楽しみやすくさせてくれることに期待。



カラークリエイト特別賞

ファレノプシス「ラブリーヘイズ」

アイファーマーグループ 蘭工房

受賞者 : アイファーマーグループ 蘭工房 (愛知県)

育成者 : 服部健治

育成者権者 : 服部健治

審査講評 : 2013年にフラワー・オブ・ザ・イヤーとなった「ラブリーエフェクト」の姉妹交配品種。花卉のボリューム感、花の並びが良く、コントラストが美しく、しっかりと詰まった花が連なり、一層ゴージャス。

花と花の感覚が狭いため、花が重なってしまっていることが少し惜しいという意見もあった。美しいピンクのグラデーションが評価され、カラークリエイト特別賞を受賞。



ジャパンデザイン特別賞

セイヨウダイヤモンドソウ「ダンシングピクシー ターリー」

童仙房ナーセリー&ガーデン



受賞者：童仙房ナーセリー&ガーデン
(大阪府)

育成者：Josef Heuger

育成者権者：童仙房ナーセリー&ガーデン

ホームページ：www.fujitanursery.com

審査講評：ドイツで改良された新しいダイヤモンドソウ（サキシフラガ）。従来品種と比べて、病害虫に強く、育てやすい特性をもつ。

このダンシングピクシーターリーは、細弁で和のテイストを感じる紅色。コンパクトにまとまった仕上りも秀逸。馴染み深い植物をバージョンアップした企画が素晴らしい。需要の定着を期待したい。ジャパンデザイン特別賞を受賞。

グッドパフォーマンス特別賞

セイヨウダイヤモンドソウ「ダンシングピクシー トニー」

童仙房ナーセリー&ガーデン



受賞者：童仙房ナーセリー&ガーデン
(大阪府)

育成者：Josef Heuger

育成者権者：童仙房ナーセリー&ガーデン

ホームページ：www.fujitanursery.com

審査講評：ドイツで改良された新しいダイヤモンドソウ（サキシフラガ）。従来品種と比べて、病害虫に強く、育てやすい特性をもつ。

このダンシングピクシートニーは、花が上を向き、花型が良く見え、ピンクのダイヤモンドソウのかわいらしさがよく伝わってくる。コンパクトにまとまった仕上りも秀逸。馴染み深い植物をバージョンアップした企画が素晴らしい。需要の定着を期待したい。グッドパフォーマンス特別賞を受賞。

ガーデニング部門

フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）2024

サントリーフラワーズ（株）ニチニチソウ「サニープリンセス ブルー」

8/20撮影



受賞者：サントリーフラワーズ(株)（東京都）
ホームページ：<https://www.suntory.co.jp/flower/>
育成者：友松 康一
育成者権者：サントリーフラワーズ(株)
観察期間：2024年5月18日～10月8日
審査講評：花弁の中心から細い花弁が伸び八重咲きとなるニチニチソウ。従来のニチニチソウのイメージを変える品種。

5月中旬の定植直後からよく分枝し、すぐに多くの花が楽しめる。従来の八重のニチニチソウにみられる葉のよじれがなく、つやもあり葉も美しい。

同シリーズの3色展開のうちブルーは、ピンク・ホワイトよりやや花径が大きい。発色は露地花壇よりハウスのほうが良いという評価もあった。ピンチは特に不要のようだが、生育が非常に旺盛なため、8月下旬に一度行ったところ、よりまとまりが良くなった。こんもりとした1株の満足度も高く、涼し気なブルーの八重のニチニチソウとしての新規性など、見所の多いおすすめできる品種。



屋根付き施設



▲2024/5/30（定植後12日）



▲2024/6/27（定植後40日）



▲2024/7/25（定植後68日）



▲2024/8/22（定植後96日）



▲2024/9/19（定植後124日）

露地花壇



▲2024/5/30（定植後12日）



▲2024/6/27（定植後40日）



▲2024/8/8（定植後82日）



▲2024/9/19（定植後124日）

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】「サニープリンセス」は八重ニチニチソウに特徴的な葉のよじれ、分枝のしにくさを改良し、植え付け直後から旺盛に成長する育てやすいブランドです。ファンサイトを通じてネーミング、ラベルデザインなどお客様と一緒に新しいカタチで商品化を進めてきました。

【開発の面白さ、今後の展開など】ニチニチソウは暑さ、乾燥に強く、日本の夏にぴったりな花です。サントリーフラワーズの「サニープリンセス」、「フェアリースター」はユニークな花型に加え、耐病性試験による蒸れに強い品種を選抜しています。今後もお客様のお庭で、シーズンを通して簡単に楽しんでいただける品種を提案していきたいと思っています。

ガーデニング部門

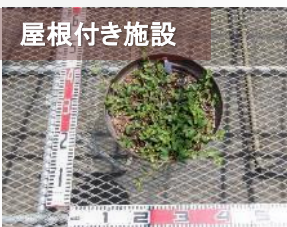
フラワー・オブ・ザ・イヤー (最優秀賞) 2024

(株) ハクサン トレニア「スーパートレニア カタリーナ ラムレーズン」

受賞者 : (株) ハクサン (愛知県)
 ホームページ : <https://hakusan1.co.jp/>
 育成者 : (株) ハクサン
 育成者権者 : (株) ハクサン
 観察期間 : 2024年5月18日~11月18日
 審査講評 : 分枝性に優れる多花性のスーパートレニア「カタリーナ」シリーズの新色。2019年出品の同シリーズ「ピンクリバー」、2023年出品の「アメジスト」と同様で高温多湿に強く、連続開花性は特筆に値する。

シックな色あいのため、同シリーズの中では花が少なく見えやすい一方、他の花との調和はとりやすい。這性が強く、土についた節から根が出て広がるので、1株が覆う面積が大きくグランドカバーとしても活用できる。観察では、鉢植えのみ一度切り戻し、株の姿を整えた。花色の面白さを近距離から観賞してもよいし、露地花壇などでは切り戻し無しで旺盛に育ててもよい。

花がら摘みも不要で、初心者にも育てやすくおすすめできる。



▲2024/5/30 (定植後12日)



▲2024/7/11 (定植後54日)



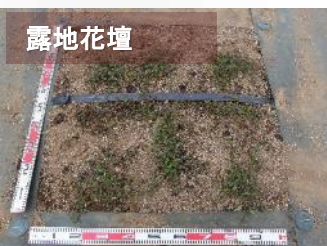
▲2024/8/22 (定植後96日)



▲2024/9/19 (定植後124日)



▲2024/11/14 (定植後180日)



▲2024/5/30 (定植後12日)



▲2024/7/11 (定植後54日)



▲2024/9/19 (定植後124日)



▲2024/11/14 (定植後180日)

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】ロングセラーのスーパートレニアに新色を求める声にこたえ、開発を進めました。「どんなに暑くてもへっちゃら！」をコンセプトに、既存品種に劣らない生育旺盛さと耐病性を兼ねそろえた新たな品種を目指しました。

【開発の面白さ、今後の展開など】明るくハッキリした色合いが多いトレニアで、ラムレーズンのような花色が出てくることは珍しく、また、気温や日当たりで花色が変わる点も魅力的です。個性的な色合いが受け入れられたことに感謝し、今後も「面白い！」と感じてもらえる品種を幅広く生み出していきます。

ベスト・フラワー（優秀賞） [コンテナ・ガーデンパフォーマンス/ニューバリュー特別賞 同時受賞]

ペロニカ「ウィザーディング ホワイトワンス」

(株)ハクサン



受賞者 : (株)ハクサン (愛知県)
 ホームページ : <https://hakusan1.co.jp/>
 育成者 : Walters Gardens
 育成者権者 : (株)ハクサン
 観察期間 : 2024年4月30日～11月18日
 審査講評 : 花茎の上がりが多く、花穂につく花数も多い、連続開花性のあるペロニカ。4月末に定植してから11月中旬の最終の観察・審査まで切り戻しを行った時期を除いて、常に花が楽しめる状態にあった。

花穂が長く咲き伸びるため、開花後に茶色の花がらが目立つという意見もあったが、露地花壇ではセルフクリーニングされやすく、気になりにくいということも観察された。盛夏にも株元に新芽が見られ、さらに切り戻しすることで草姿が整い、観賞期間がのびた。

連続開花しているのので、他の花の植え替え時期に「つなぎ」となる植栽のパートナーのような存在にもなる。また、夏の花壇に今までと異なる雰囲気を作ることができる素材としておすすめできる。

ベスト・フラワー（優秀賞）とコンテナ・ガーデンパフォーマンス、ニューバリュー特別賞を同時受賞。



屋根付き施設



▲2024/5/2 (定植後2日)



▲2024/6/27 (定植後58日)



▲2024/8/22 (定植後114日)



▲2024/9/19 (定植後142日)



▲2024/10/31 (定植後184日)

露地花壇



▲2024/5/2 (定植後28日)



▲2024/6/13 (定植後44日)



▲2024/8/8 (定植後100日)



▲2024/10/31 (定植後184日)

ベスト・フラワー（優秀賞） [ニューバリュー/ガーデンパフォーマンス特別賞 同時受賞]

カリロファス「サニーチャープ」

(株)ハクサン



受賞者 : (株)ハクサン (愛知県)
 ホームページ : <https://hakusan1.co.jp/>
 育成者 : WinGen
 育成者権者 : (株)ハクサン
 観察期間 : 2024年5月18日～11月18日
 審査講評 : 暑く乾燥の厳しい環境で自生していたアメリカ原産のカリロファスの園芸品種。軽やかさのある明るい黄色の花と細い葉は、人気の自然風な花壇に似合いそうな雰囲気。

非常に耐暑性は高く、春から晩秋にかけて連続開花することが確認された。花が減った時期もあったが、秋に差し掛かり、また咲き始めた。

一旦根が張れば、特別な手入れは不要なことも高評価だった。花がらがやや目立つという意見もあったが、咲き終わりは花がらが乾燥して萎むので手間はあまりかからない。露地花壇では草姿、草丈のバランスも良く、黄色のじゅうたんようになった様子が美しかった。夏の花壇の新しい素材としておすすめできる。

ベスト・フラワー（優秀賞）とニューバリュー特別賞、ガーデンパフォーマンス特別賞を同時受賞した。

8/20撮影

7/1撮影



7/1撮影

屋根付き施設



▲2024/5/30
(定植後12日)



▲2024/7/11
(定植後54日)



▲2024/8/22
(定植後96日)



▲2024/10/17
(定植後152日)

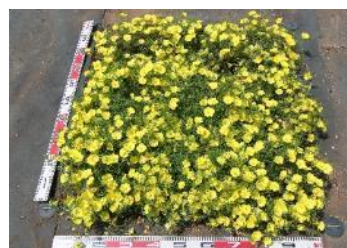


▲2024/11/14
(定植後180日)

露地花壇



▲2024/5/30
(定植後12日)



▲2024/6/27
(定植後40日)



▲2024/8/22
(定植後96日)



▲2024/11/14
(定植後180日)

ベスト・フラワー（優秀賞）[カラークリエイト/フォトジェニック特別賞 同時受賞]

ルドベキア「アーバンサファリ サバンナサンセット」

(株)ハクサン



受賞者：(株)ハクサン (愛知県)

ホームページ：<https://hakusan1.co.jp/>

育成者：Thompson and Morgan

育成者権者：(株)ハクサン

観察期間：2024年5月25日～10月8日

審査講評： 耐暑性に優れ、オレンジ、イエローゴールド、ブラウンに色が変化するルドベキア。花型が立体的で、横から見た際の花弁の重なりと色の変化の美しさが特徴。

分枝がよく、開花数が多いが立ち姿もしっかりとしており、草姿のバランスが良い。開花後期に花色がグリーンにも変化し、咲き終わりまできれいに長く楽しめる点は、商品性も高く評価された。

ベスト・フラワー（優秀賞）に加え、立体的な花型、美しいグラデーションにカラークリエイト特別賞、フォトジェニック特別賞も同時に授与された。



屋根付き施設



▲2024/5/30
(定植後5日)



▲2024/6/27
(定植後33日)



▲2024/7/25
(定植後61日)



▲2024/8/22
(定植後89日)



▲2024/9/19
(定植後117日)

露地花壇



▲2024/5/30
(定植後5日)



▲2024/6/27
(定植後33日)



▲2024/7/25
(定植後61日)



▲2024/8/22
(定植後89日)

ベスト・フラワー（優秀賞） [カラークリエイト/ガーデンパフォーマンス特別賞 同時受賞]

アンゲロニア「エンジェルフレア ブラック」 (株)エム・アンド・ビー・フローラ



受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

ホームページ：http://www.mbflora.co.jp/

育成者：Ball Horticultural Company

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2024年6月4日～10月8日

審査講評：
ダークパープル～黒色のシックな花色のインパクトあるアンゲロニア。暗い花色だが、花が株に埋もれず、存在感を楽しめる。地際からの花上がりが美しい。

半這性ということで適度な株の広がりも楽しめるが、切り戻しをするほうが草姿・花上がりについてこの品種のキリッとした雰囲気表現されるようだった。

明るい色の花との組み合わせで、ガーデンや寄せ植えに新たな雰囲気を作り出せる名バイプレイヤーとなるだろう。

ベスト・フラワー（優秀賞）と同時にカラークリエイト特別賞とガーデンパフォーマンス特別賞を同時受賞。



屋根付き施設



▲2024/6/13
(定植後9日)



▲2024/7/11
(定植後37日)



▲2024/8/22
(定植後79日)



▲2024/9/5
(定植後93日)



▲2024/10/3
(定植後121日)

露地花壇



▲2024/6/13
(定植後9日)



▲2024/7/11
(定植後37日)



▲2024/8/8
(定植後65日)



▲2024/9/19
(定植後107日)

ベスト・フラワー（優秀賞） [ブリーディング/コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞 同受賞]

ニチニチソウ「タイタニウムポルカドット」 (株)エム・アンド・ビー・フローラ



受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

ホームページ：http://www.mbflora.co.jp/
育成者：Ball Horticultural Company
育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
観察期間：2024年6月4日～10月8日
審査講評：

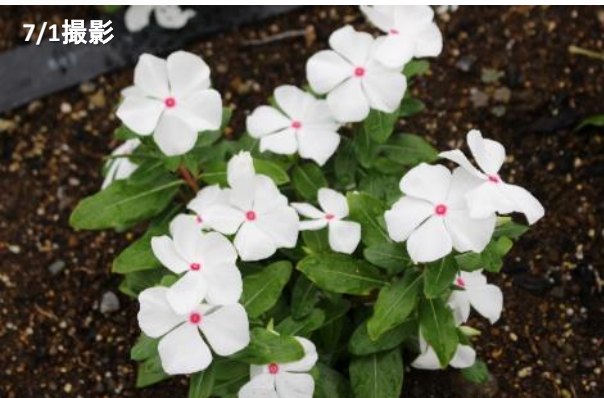
フィトフィトラという疫病菌に対する耐性を備えた同社タイタンの新シリーズ「タイタニウム」。

観察中枯死株はなく、生育は安定していた。連続開花し、10月の時点でも花が小さくならず、また、分枝性、株張りも比較対照のために同時に定植した従来のタイタンシリーズと遜色ないことが確認された。

見た目の新奇性ではない「耐病性」という特徴を消費者にわかりやすくアピールしたい。

ベスト・フラワー（優秀賞）とブリーディング特別賞、コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞をを同時受賞。

8/20撮影



7/1撮影



7/1撮影

屋根付き施設



▲2024/6/13
(定植後9日)

▲2024/7/11
(定植後37日)

▲2024/8/8
(定植後65日)

▲2024/9/5
(定植後93日)

▲2024/10/3
(定植後107日)

露地花壇



▲2024/6/13
(定植後9日)

▲2024/7/11
(定植後37日)

▲2024/8/8
(定植後65日)

▲2024/9/19
(定植後107日)

ベスト・フラワー（優秀賞） [コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞 同時受賞]

ニチニチソウ「まんまるピンカローズ」 (株)エム・アンド・ビー・フローラ



8/20撮影

受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ (山梨県)

ホームページ：http://www.mbflora.co.jp/

育成者：(株)ミヨシ

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2024年6月4日～10月8日

審査講評： 小中輪のニチニチソウで、ノーピンチでもこんもりとまとまる「まんまるピンカ」シリーズのローズピンク色品種。花弁の先も丸く、柔らかな印象。

コンテナ植えでも露地花壇でもバランスよくドーム状に咲く草姿の良さと、多花性・連続開花性が確認できた。コンパクトで、節間も短く、ハンギングバスケットなどへの活用もおすすすめ。

ベスト・フラワー（優秀賞）コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞受賞。



8/20撮影



7/1撮影

屋根付き施設



▲2024/6/13 (定植後9日)

▲2024/7/11 (定植後37日)

▲2024/8/8 (定植後65日)

▲2024/9/5 (定植後93日)

▲2024/10/3 (定植後121日)

露地花壇



▲2024/6/13 (定植後9日)

▲2024/7/11 (定植後37日)

▲2024/8/8 (定植後65日)

▲2024/9/19 (定植後107日)

ベスト・フラワー（優秀賞） [ブリーディング/ガーデンパフォーマンス特別賞 同時受賞]

モナルダ「ピーマイン レッド」

(株)エム・アンド・ビー・フローラ



受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

ホームページ：http://www.mbflora.co.jp/
育成者：Ball Horticultural Company
育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
観察期間：2024年6月4日～10月8日
審査講評：うどん粉病耐性が強いモナルダ「ピーマイン」の赤色品種。初年度開花型の宿根草。

草丈約40～50cmほど、コンパクトな草姿で、分枝も良く、低い位置で真夏にもよく開花していた。花終わりがあまり気にならない点も、暑さが厳しい夏にはありがたい。

9月以降、株が暴れ気味にはなったが、花は少なくはなったが秋にも開花していた。ふんわりとした花型は、新しい夏花壇の素材として活用したい。ベスト・フラワー（優秀賞）とガーデンパフォーマンス特別賞受賞。



屋根付き施設



▲2024/6/13
(定植後9日)



▲2024/7/11
(定植後37日)



▲2024/8/8
(定植後69日)



▲2022/8/22
(定植後83日)



▲2022/9/5
(定植後97日)

露地花壇



▲2024/6/13
(定植後9日)



▲2024/7/11
(定植後37日)



▲2024/8/8
(定植後69日)



▲2024/8/22
(定植後83日)

ベスト・フラワー（優秀賞） [コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞 同時受賞]

ペチュニア「YES！ミルキーシャワー」

(株)エム・アンド・ビー・フローラ



受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

ホームページ：<http://www.mbflora.co.jp/>

育成者：(株)ミヨシ

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2024年6月4日～10月8日

審査講評：分枝性に優れ、花径3～4cmの小輪多花性、高温多湿な日本の夏にも育てやすい「YES！シリーズ」の新品種ミルキーシャワー。過去に出品されたYES！イエロー、YES！ピンクスマイルと比較しても、優れたパフォーマンスが見られた。より長く楽しむためには一度ピンチすることをおすすめする。

真っ白ではなく、極淡いクリーム色の花が、他の花色との馴染みもよく、組み合わせる楽しさも提供できる。ベスト・フラワー（優秀賞）と、ガーデンでもコンテナでもどちらにもおすすめの種類としてコンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞も受賞。

8/20撮影



8/8撮影



7/1撮影

屋根付き施設



▲2024/6/13
(定植後9日)



▲2024/7/11
(定植後37日)



▲2024/8/8
(定植後65日)



8/27 **ピンチ**
▲2024/9/5
(定植後93日)



▲2024/10/3
(定植後121日)

露地花壇



▲2024/6/13
(定植後9日)



▲2024/7/11
(定植後37日)



▲2024/8/8
(定植後65日)



8/27 **ピンチ**
▲2024/9/19
(定植後107日)

ご存じですか？ ジャパンフラワーセレクションのロゴマーク。

ジャパンフラワーセレクションで「入賞」に選定された品種は、「認定登録」をおこなうことにより、花の業界が推奨する品種として「ジャパンフラワーセレクション受賞マーク」をPRに活用することができます。

ロゴマークを使用することで「花業界が推奨する品種」として他との差別化を図ることができます。



ポットに差し込むタグに受賞マークを使用。

HPなどで自社製品の紹介に。

カタログの商品紹介や店頭POPに使用。

受賞マークは、一般の消費者に向けたHPや店頭PRだけでなく、生産者向けのカatalogや市場出荷用のカートンやスリーブにも幅広くご利用いただいています。インターネット通販の商品に表示することで、比較購入の際の動機づけにもご活用いただいています。

■ ジャパンフラワーセレクションの認定登録すると、用途によって使い分けられる6種類のマークをご用意

基本的なロゴマーク 日本花き取引コード（JFコード）あり 全6パターン

*JFコード無しのロゴマークも6パターンあります。



■ ジャパンフラワーセレクションの認定登録した品種が、フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）になった場合は、専用のロゴマークが使用できます。

■ その他、ジャパンフラワーセレクションの広報用のロゴ（全4パターン）もご利用になれます。

フラワー・オブ・ザ・イヤー専用ロゴ 全4パターン



■ JFS認定登録料について

認定登録には別途60,000円（税込66,000円）の認定登録料がかかります。（認定登録は任意です）

認定登録申請書にご記入の上、事務局までお送りください。

認定登録申請書の様式は、jfpc@jfpc.or.jpにご請求いただくか、ホームページから様式をダウンロードしてお使いください。

お問い合わせはこちらへ

<ジャパンフラワーセレクション実行協議会 事務局>

TEL 03-3664-8739

FAX 03-3664-8743

E-mail: jfpc@jfpc.or.jp

ホームページ: <http://www.jf-selections.net>

NEW !

第73 関東東海花の展覧会

1月31日(金) ~ 2月1日(土) で

ジャパンフラワーセレクションの過去の入賞品種など、自社のお花のPRをしませんか？(2024年10月版)

ジャパンフラワーセレクション過去の入賞品種、 特別賞受賞 品種特別展示 出品募集のご案内

@
第73回
関東東海
花の展覧会

2025年1月31日(金)~2月2日(日)開催の「第73回 関東東海花の展覧会」で、ジャパンフラワーセレクションの受賞品種の特別展示を行いますのでご案内いたします(JFS受賞品種展示は、1月31日・2月1日の2日間)。2024年の受賞品種だけでなく、過去の受賞品種、またその関連品種、シリーズ品種など、消費者のみなさまが興味を持ってご覧になれるような場としたいと思っております。ご出品のご協力を宜しくお願い致します。

* 関東東海花の展覧会とは・・・花に対する理解を深め、一層の花の消費拡大を図ることを目的として、関東東海地域の1都11県と花き関係6団体が主催する、日本で最大規模の伝統ある花の展覧会です。第73回の当番都県は「群馬県」です。

■ PR展示の対象：過去のJFS入賞品種・特別賞受賞品種とその関連品種

■ 展示場所：東京 池袋 サンシャインシティ文化会館2階 展示ホールD (入場無料)

■ PR展示申し込み締め切り：2025年1月22日(水)

* 展示スペースに限りがありますので、締め切り日以前に締め切る場合があります。ご希望の方は早めにお申し込みください。

■ 展示品搬入日時：

① 宅配便による搬入の場合 2025年1月30日(木) 午前中 必着

② 出品者による直接搬入の場合 2025年1月30日(木) 13:00~16:00 必着

* この日以外は受け取ることができませんのでご注意ください。

■ PR展示期間：2025年1月31日(金) ~ 2月1日(土) の2日間

■ 出品料：無料

■ 搬入先住所：〒170-8630 東京都豊島区東池袋3-1-4 文化会館2階 展示ホールD
第73回関東東海花の展覧会 出展者名(一財)日本花普及センター

出品をご希望される方は、別添「受賞品種PR展示申込書 兼 花材出荷通知書」の様式にご記入の上、
メール又はFAXでお申し込みください。受領後、(一財)日本花普及センターより搬入についてご案内いたします。



関東東海花の展覧会(2024)の受賞品種PR展示の様子

お問い合わせ・お申し込みは 一般財団法人日本花普及センター まで

E-Mail jfpc@jfpc.or.jp

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3丁目6番17号

TEL: 03-3664-8739 / FAX: 03-3664-8743



ジャパンフラワーセレクション受賞品種は、
業界が推奨する優れた品種です。
自信をもってお客様へお勧めください。



<http://www.jf-selections.net/>



いい花の**新基準**。

<http://www.jf-selections.net/>

ジャパンフラワーセレクション実行協議会
東京都中央区東日本橋3-6-17山一ビル4F
一般財団法人日本花普及センター内
TEL : 03-3664-8739 FAX : 03-3664-8743
メール : jfpc@jfpc.or.jp